

立冬を過ぎました…

二十四節季の 1 つに立冬があります。二十四節季とは、太陰暦を使用していた時代に、季節を現すための工夫として考え出されたもので、1 年を 24 等分にし、その区切りに名前をつけたものです。今年の立冬は 11 月 7 日（土）に迎えました。暦の上では、この日から小雪、大雪、冬至、小寒、大寒を経て、立春の前日までが冬ということになります。

ところが、今週末には気温が 25℃の夏日になるのでは…と週間天気予報していました。立冬を過ぎて暦の上では冬だとはいえ、朝晩の冬の気温から昼の夏日へと、その気温差が激しいので体調管理には十分に注意をしていきたいものです。

また、新型コロナウイルス感染症の第 3 波が流行してきていると言われています。北海道や首都圏、関西圏を中心に日本全国に広がってきています。感染者数が少ない福岡でも安心できるものではありません。これまでと同様に手洗いやうがいの励行、マスクの着用、換気などに十分に注意しましょう。

先日の明け方、自宅で換気のために窓を開けて空を眺めました。すると細い三日月と並んで、ひときわ輝いている金星を見つけました。幻想的な光景でした。12 月頃まで、明けの明星の金星が見頃だそうです。是非、眺めてみてください。

大学から教育実習生😊

11 月 9 日（月）～20 日（金）までの 2 週間、教育実習を実施していますので、紹介します。



【所属】筑紫女学園大学 人間科学部人間学科
初等教育・保育専攻 幼児保育コース 2 年

【名前】小柳 麗（こやなぎ うらら）

【実習クラス】 年少 こあら

▶筑女幼稚園の卒園児です。卒園児を実習生として迎え入れできたことは大変嬉しいことです。

Q1：筑女幼稚園の思い出は…？

A1：My 竹馬。家族と一緒に自分の竹馬を作ることから始まり、毎日少しずつ練習して竹馬に乗れるようになった事が嬉しくて、迎えが来るまでずっと乗っていたこと。そして竹馬大会で自分の技を披露することが出来て、皆から拍手をもらえた事が素敵な思い出です。

Q2：どんな保育士になりたいですか？

A2：年長の時にクラス担任だった吉岡美穂先生が目標です。常に優しい笑顔で、一人ひとりの個性を把握し、その個性を伸ばしてあげられるそんな先生になりたいと思います。

竹馬披露会と発表会



11 月 13 日（金）に年長さんが在園児に竹馬乗りを披露しました。年中・年少の園児

が見守る中、さくら→うめ→ゆりの順に、それぞれが身に付けた技を披露し喝采を浴びていました。周りからの、ジャンプ、カニ歩き、回転など技のリクエストがかかるとそれに応えて披露していました。今週は保護者の皆さんへの披露週間となっています。子ども達は、これまで練習してきた成果を発揮すると思います。温かな声援をお願いします。

前号で発表会に向けた年中さんの活動を紹介しました。今週は、遊戯室の舞台を使つての練習が始まったようです。また、年長さんの保育室では、パン屋さんやラーメン屋さん、大きな大きなフライパンが出現して活動が展開しています。年長さんはどのクラスとも食べ物と関係がありそうな活動となっているようです。これから後、どのように発展していくのか楽しみです。

